

施工説明書

高気密型床下点検口

寒冷地高断熱型

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
施工説明書は工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

	この記号は、禁止の行為を示しています。		この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
---	---------------------	---	-------------------------------

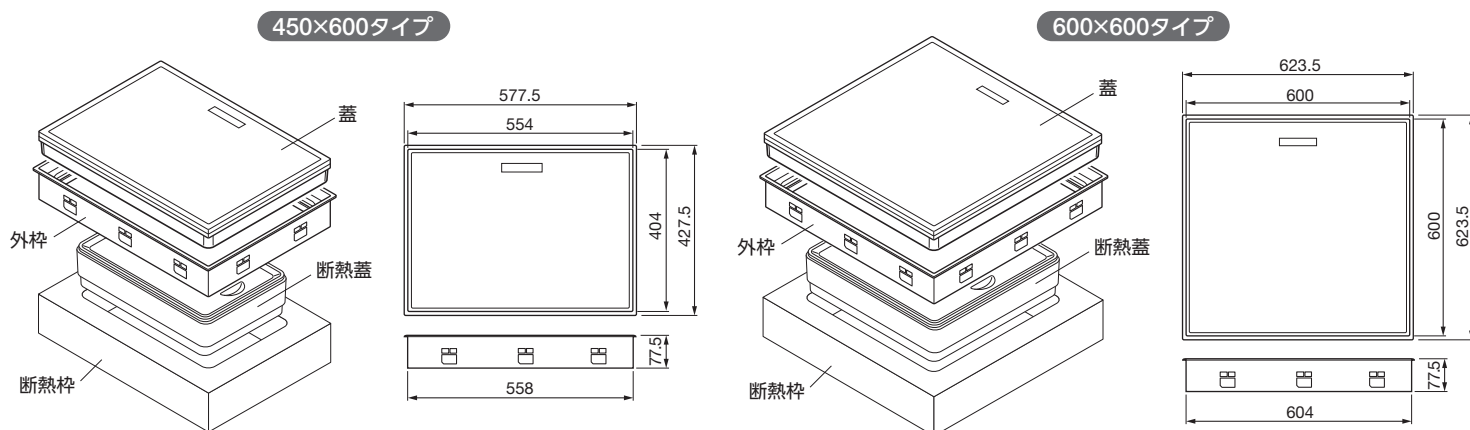
⚠ 注意

 禁止	樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。
	樹脂製ですので、熱源（投光器など）のそばに置かないでください。
	保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。

種類	適用	品番
高気密型床下点検口 (寒冷地高断熱型)	450×600タイプ	SPF-R45S-BL3・SPF-R45C-BL3・SPF-R45F12-BL3・SPF-R45F15-BL3
	600×600タイプ	SPF-R60S-BL3・SPF-R60C-BL3・SPF-R60F12-BL3・SPF-R60F15-BL3

※品番：SPF-R45(60)S-BL3…シート貼り完成品／SPF-R45(60)C-BL3…クッションフロア合わせタイプ
／SPF-R45(60)F12-BL3, SPF-R45(60)F15-BL3…フローリング合わせタイプ

製品図



⚠ 注意：断熱枠は梱包の緩衝材ではありません。絶対に捨てないでください。
収納庫は使用できませんのでご注意ください。

施工説明書 の見方

この施工説明書は高気密型床下点検口「寒冷地高断熱型」を掲載しています。

下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。

※〔 〕内の寸法は600×600タイプ

●シート貼り完成品は、4の蓋を組み立てる作業は必要ありません。

1

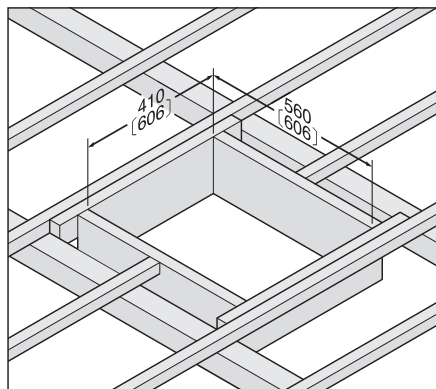
施工の前に

- ・気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。
- ・収納庫は使用できませんのでご注意ください。(収納庫を使用したい場合は高断熱型等をお選びください)

2

下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます (根太、補強材の構成)

- 1** 450×600タイプは**410×560mm**
600×600タイプは**606×606mm**
の開口部が必要です。

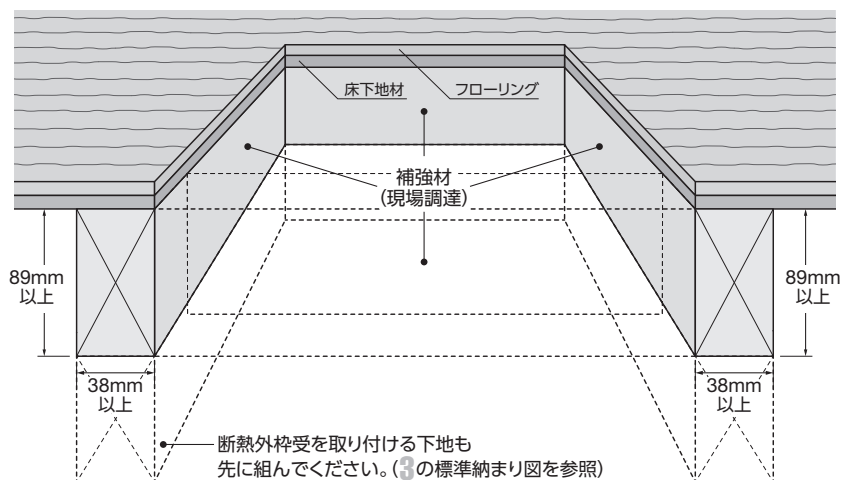


- 2** 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。

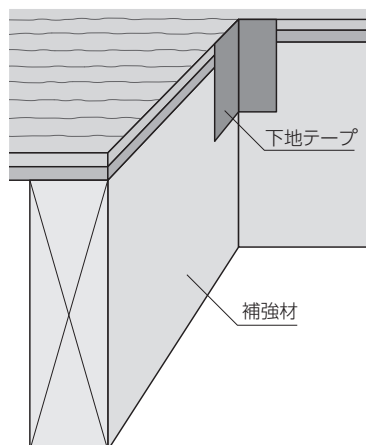
※補強材のサイズは3の標準納まり図を参照のうえ選定してください

※補強材には乾燥材をご使用ください。

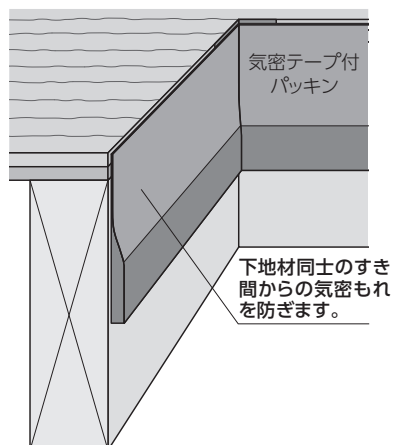
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



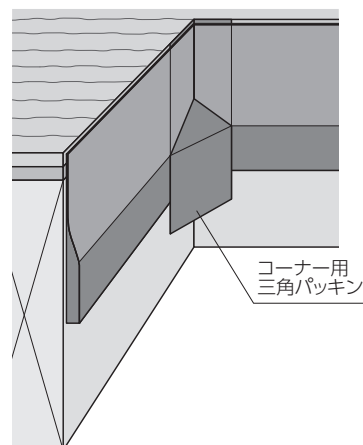
- 3** コーナー部に付属の下地テープのみを貼ってください。



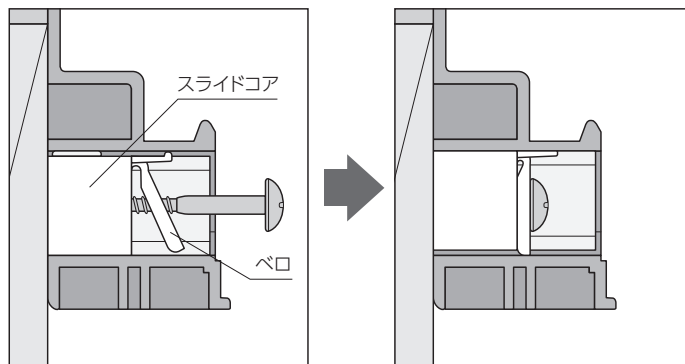
下地材の側面に付属の気密テープ付パッキンを貼り気密処理をしてください。



コーナー用三角パッキンを、さらに上から貼ってください。



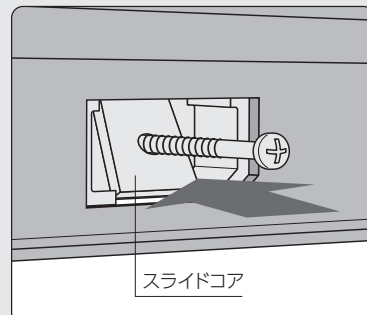
- 4** **3**に外枠を取り付けます。外枠側面に同梱しているスライドコアを奥まで差し込み、木ネジで補強材（現場調達）に取り付けます。



木ネジは必ず
水平に入れてください。

ベロがまっすぐ立つまで
木ネジを留め付けてください。

スライドコアは、中央部分から留め付けてください。全てのスライドコアがしっかりと留め付けられていることを確認してください。



●450×600タイプ

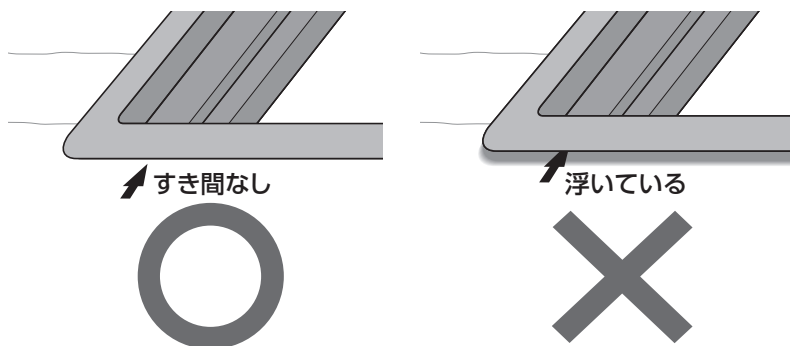


●600×600タイプ

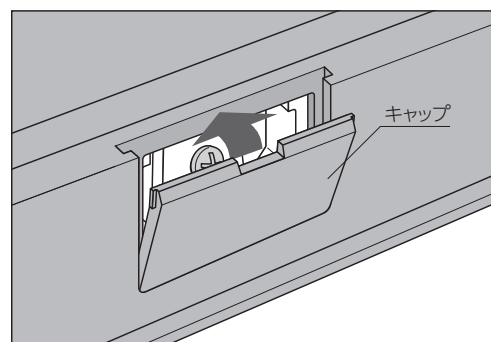


注意

外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



- 5** **4**で取り付けした外枠に、同梱していますキャップをセットしてください。



※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

■スライドコアの取り付けについてのお願い

下記の図の通り、外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると（スライドコアは、あらかじめ外枠の奥までしっかりセットしておいてください）スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。スライドコアは、外枠に手を触れずフリーハンドで取り付けて頂きますよう、お願いいたします。

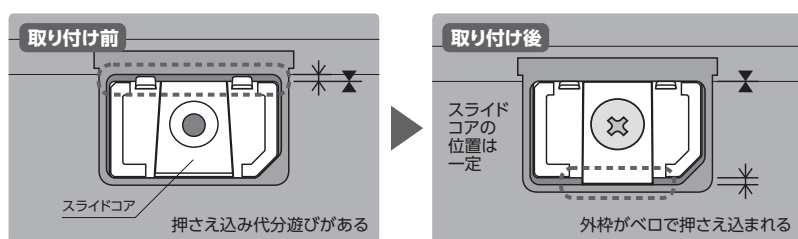
※スライドコアは中央部分から留め付けてください。

※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

補強材への取り付け方法
〔側面〕



補強材への取り付け方法
〔正面〕



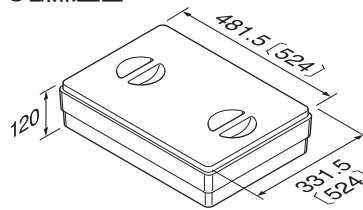
補強材がズれていても、スライドコアだけが動きますので、ピッタリと取り付けが可能です。

補強材

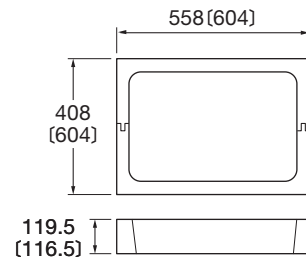
スライドコアだけ動きます

- 断熱蓋 1コ 断熱枠 1セット
- 取り付けネジ(ℓ=57mm)6本/袋
- ※〔 〕内の寸法は600×600タイプ用

●断熱蓋図



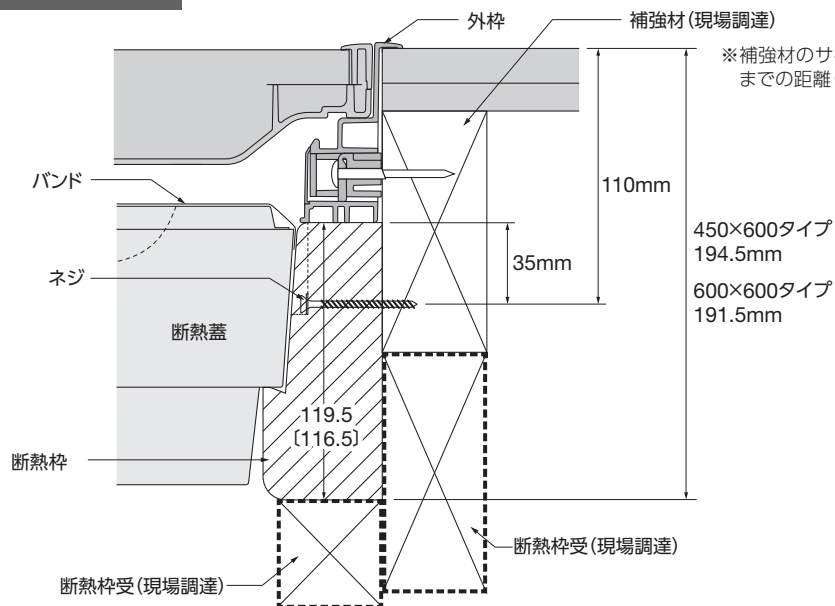
●断熱枠セット図



※収納庫はセットできませんのでご注意ください。
 ※断熱蓋を押さえるバンドが付いています。

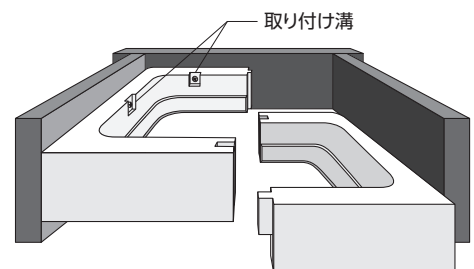
断熱枠の取り付け

- ①断熱枠を下地(補強材)に取り付けネジで取り付けます。
- ②取り付けネジは、ネジにワッシャーを通し、取り付け溝から補強材に向けて取り付けます。
 取り付けネジは、断熱枠の上端から35mmの位置へ取り付けてください。
 その後、断熱枠の下端へ断熱材受をネジまたは釘で取り付けてください。
 ※断熱枠の下端と断熱材受の上端は密着させて取り付けてください。

標準納まり図
〈施工例〉

※収納庫はセットできませんのでご注意ください。

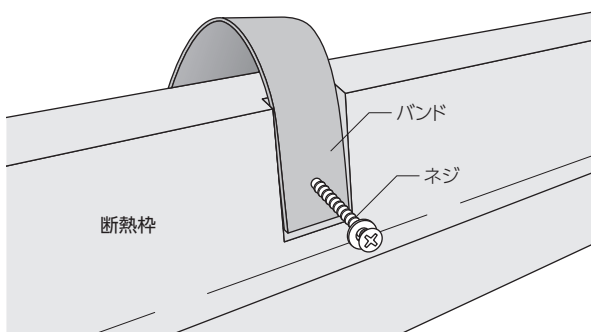
※補強材のサイズはF.Lから断熱枠を取り付けるネジまでの距離(110mm)を考慮して選定してください。



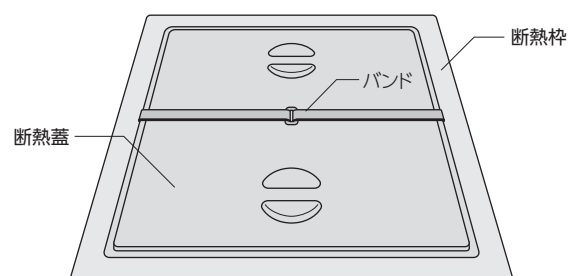
断熱材受のサイズや補強の組み合わせに指定はございません。

以下の点にご注意ください。

- 1.あらかじめ取り付いていますバンドの上から付属のネジで取り付けてください。



- 2.バンドで断熱蓋を押さえつけてください。

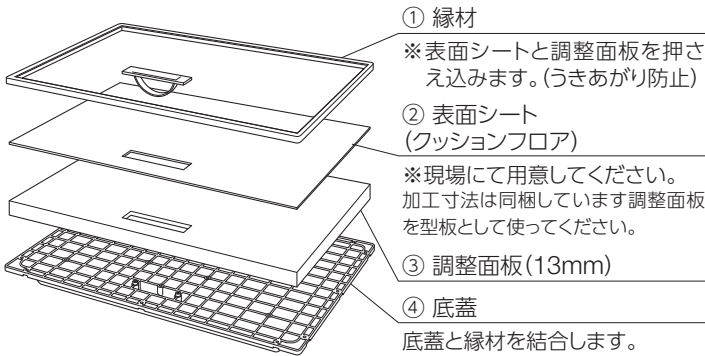


4 点検口の蓋を組み立てます

※シート貼り完成品をお買い上げいただいた方は、完成品のため組み立ては完了しています。

クッションフロア合わせタイプ (SPF-R45〔60〕C-BL3)

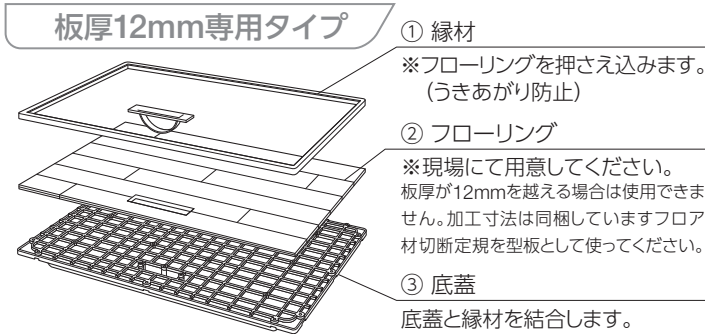
※接着剤は、ホルムアルデヒド対策の市販製品をご使用ください。



クッションフロアを貼る際、以下の点にご注意ください。

- クッションフロアの選定**
 - 厚みは1.8~2.0mmとしてください。
 - 貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。
- 接着剤の選定**
 - 接着剤はウレタン系が適当です。アクリル系の両面テープの全面使用も可能ですが、ラテックス、水性エマルジョンは使用できません。
 - 調整面板はABS樹脂製品です。クッションフロア材との接着性は接着剤メーカーにお問い合わせの上で使用ください。
- 施工の注意点**
 - 接着剤を均一に塗布して貼り合わせた後ローラーで十分に圧着してください。
 - 接着不良は後日ふくれ・剥がれなどが生じる原因となります。
 - 有機溶剤を含む接着剤を使用する場合は、火気に注意して換気を心がけてください。多量に摂取すると健康を害することがあります。

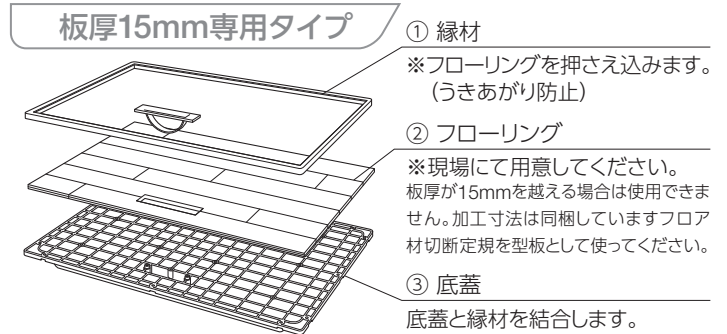
フローリング合わせタイプ (SPF-R45〔60〕F12-BL3)



※板厚12mmに対応します。 ※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。 ※板厚15mmに対応します。※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。

フローリング切断寸法 | 450×600タイプ: 382mm×532mm 600×600タイプ: 577.5mm×577.5mm

フローリング合わせタイプ (SPF-R45〔60〕F15-BL3)



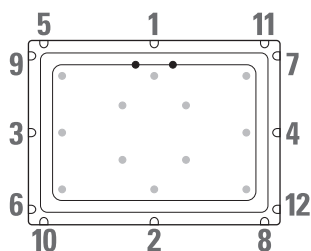
次の手順で組み立てていきます。

⚠ 注意：インパクトドライバーは使用しないでください。

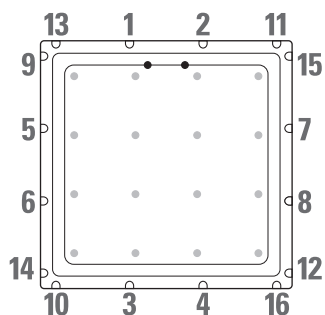
1 縁材にフローリングまたはクッションフロアを貼り終えた調整面板をセットします。 フローリング (または調整面板) 縁材	2 ①に底蓋をセットします。 底蓋
3 ②を同梱のネジで留め付けていきます。その前に次の点を、ご確認・ご注意ください。 ●手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。 ●ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。 ●作業は必ず平らな面の上で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。	4 フローリング合わせタイプは同梱の短いネジ (4×16)、クッションフロア合わせタイプは、(4×14)で、下図の順番で留め付けていきます。 ※光沢のあるフローリングは付属のワッシャーをご使用ください。フローリング面に突起が出る恐れがあります。 ●450×600タイプ ●600×600タイプ

5 次に同梱の長いネジ (4×20) で縁材と底蓋を下図の順番で留め付けていきます。

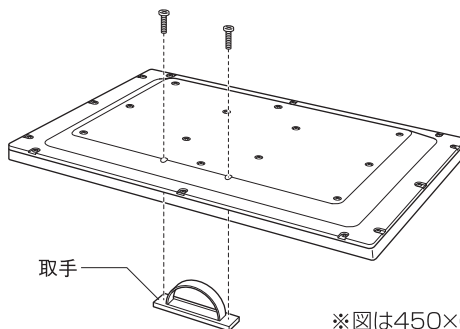
●450×600タイプ



●600×600タイプ



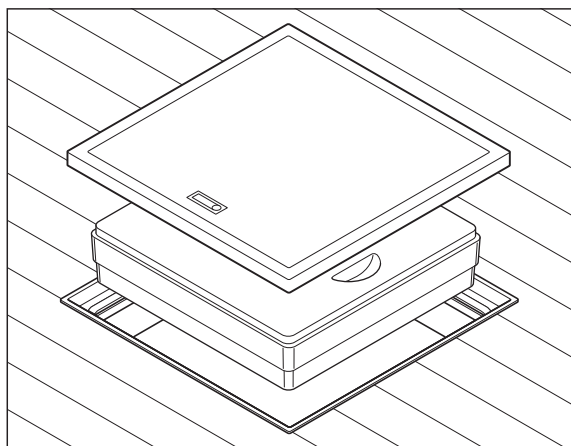
6 取手を取り付けます。取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の小ネジ (M4×16) をドライバー (手回し) で留め付けます。



※図は450×600タイプです。

5 蓋を取り付けます

蓋を取り付ける前に、断熱蓋を取り付けてください。
蓋を外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。



6 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目	チェック
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか? 2の5	
蓋の開閉はスムーズですか?	
組み立てた蓋や取手にガタツキはありませんか?	
外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?	

